



CARTRIDGE HEATERS -SENSOR-ATTACHED TYPE-

カートリッジヒータ

-センサ付タイプ-

CADデータフォルダ名: 57_Heaters

●P1667のカートリッジヒータ概要ページに記載されている使用上の注意を必ずご参照ください。

MCHSSS (感熱部先端タイプ)
MCHSSC (感熱部中央タイプ)
リード線保護無し

感熱部先端タイプ
感熱部中央タイプ
発熱部(L=15)
K型熱電対
青(-)
赤(+)

●最高使用温度: 600°C
●最高使用温度はシース部の温度です。リード線の耐熱温度に注意し、リード線は必ず取付穴から出すようにしてください。

端子選択

● M (丸型圧着端子付)
● Y (Y型圧着端子付)

●材質
本体: SUS304相当
端子: 銅
リード線: ニッケル(Ni)
リード線被覆: ガラス編組
リード線耐熱温度: 180°C
K熱電対被覆: ガラス編組
熱電対耐熱温度: 180°C
測温範囲: 0~600°C

●材質
本体: SUS304相当
端子: 銅
リード線: ニッケル(Ni)
リード線被覆: ガラス編組
リード線耐熱温度: 180°C
K熱電対被覆: ガラス編組
熱電対耐熱温度: 180°C
測温範囲: 0~600°C

型式 Type	L 指定5mm単位	V(電圧) 選択	W(電力) 指定10W単位	リード線保護 選択	端子選択	F (リード線長)	電力密度 (W/cm ²)	¥ヒータ本体 基準単価			判別線保護追加価格 (本体+)	¥端子追加価格 (本体+)		
								L50~100	L101~200	L201~300		C	M	Y
MCHSSS (感熱部先端タイプ)	8	100	50~600	C	M	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	11,500	12,310	13,920	3,500	300	300	
		110	70~1000											
		200	90~1000											
		220	90~1000											
MCHSSC (感熱部中央タイプ)	10	100	50~600	C	Y	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	11,960	12,770	14,380	3,500	300	300	
		110	110~1200											
		200	130~1200											
		220	130~1200											
	12	100	50~800	C	Y	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	12,310	13,110	14,950	3,500	300	300	
		110	140~1500											
		200	140~1500											
		220	160~1500											

Order 注文例
MCHSSC10 - 170 - V200 - W450
MCHSS12 - 300 - V110 - W300 - C - Y

Delivery 出荷日
8 日日出荷

Price 価格
数量スライド価格 (1円未満切り捨て) P133

数量区分	標準対応	個別対応
小口	MCHSSC10-300-V200-W300-C-M	MCHSSC10-300-V200-W300-C-M
大口	MCHSSC10-300-V200-W300-C-M	MCHSSC10-300-V200-W300-C-M

●表示数量超えはWOSにてご確認ください。
●数量スライド価格はヒータ本体のみの適用となります。

端子種類

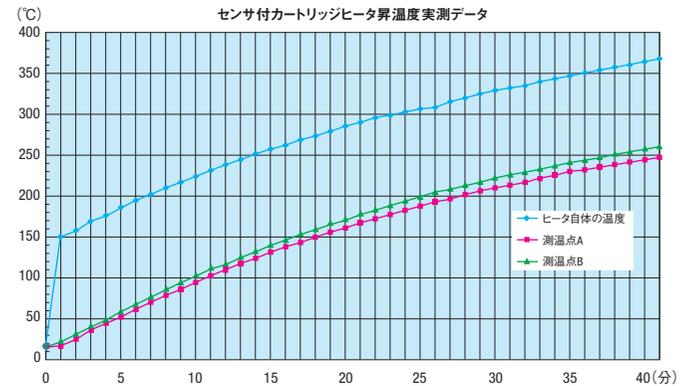
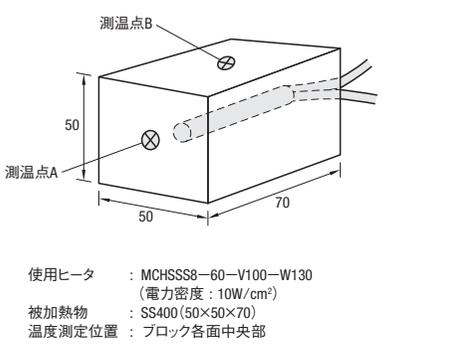
記号	端子種類	ねじ呼び
M	圧着端子 -丸型-	M4
Y	圧着端子 -Y型-	M4

Example 使用例
カートリッジヒータ

- 特長
- カートリッジヒータに、K型熱電対を内蔵したものです。
 - ヒータと温度センサを一体化した為、省スペースで使用できます。
 - ヒータ自体の過昇を防止し、かつ的確な温度コントロールができます。

- 使用上の注意
- ヒータを大気中で空焼きしないでください。
 - ヒータの発熱部全体または発熱部の一部が被加熱物から出た状態で使用すると、異常発熱により断線・発火する恐れがあります。
 - 熱電対で測定する温度はヒータ自体の温度です。
 - 被加熱物の温度を測定する場合には、別途センサを取付ける必要があります。

●センサ付カートリッジヒータ昇温度実測データ



※上記データは、ヒータ自体の温度と被加熱物との温度差を示したものです。



CARTRIDGE HEATERS -SENSOR-ATTACHED UNIFORM HEATING TYPE

カートリッジヒータ

-センサ付均熱タイプ-

CADデータフォルダ名: 57_Heaters

●均熱タイプの特長や使用上の注意はP1674をご参照ください。
●P1667のカートリッジヒータ概要ページに記載されている使用上の注意を必ずご参照ください。

MCHSSSC (感熱部先端タイプ)
MCHSSCC (感熱部中央タイプ)
リード線保護無し

感熱部先端タイプ
感熱部中央タイプ
発熱部(L=15)
K型熱電対
青(-)
赤(+)

●最高使用温度: 600°C
●最高使用温度はシース部の温度です。リード線の耐熱温度に注意し、リード線は必ず取付穴から出すようにしてください。

端子選択

● M (丸型圧着端子付)
● Y (Y型圧着端子付)

●材質
本体: SUS304相当
端子: 銅
リード線: ニッケル(Ni)
リード線被覆: ガラス編組
リード線耐熱温度: 180°C
K熱電対被覆: ガラス編組
熱電対耐熱温度: 180°C
測温範囲: 0~600°C

●材質
本体: SUS304相当
端子: 銅
リード線: ニッケル(Ni)
リード線被覆: ガラス編組
リード線耐熱温度: 180°C
K熱電対被覆: ガラス編組
熱電対耐熱温度: 180°C
測温範囲: 0~600°C

型式 Type	巻線比	L 指定5mm単位	V(電圧) 選択	W(電力) 指定10W単位	リード線保護 選択	端子選択	F (リード線長)	電力密度 (W/cm ²)	¥ヒータ本体 基準単価			判別線保護追加価格 (本体+)	¥端子追加価格 (本体+)		
									L150~200	L201~300	C		M	Y	
MCHSSSC (感熱部先端タイプ) MCHSSCC (感熱部中央タイプ)	A (1.1:1.1:1.1) B (1.3:1.1:1.3)	8	100	70~600	C	M	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	13,550	15,310	3,500	300	300		
			110	70~1000											
			200	70~1000											
			220	90~1000											
			100	90~600											
			110	90~600											
		10	150~300	100	90~600	C	Y	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	14,050	15,830	3,500	300	300	
				110	110~1200										
				200	90~1000										
				220	90~1000										
				100	110~600										
				110	110~600										
	12	150~300	100	110~600	C	Y	250	2 ≤ W/cm ² ≤ 15 W / (Dπ(L-15)/100) 全長ではなく、 発熱部の電力密度 で計算してください。	14,430	16,450	3,500	300	300		
			110	110~600											
			200	110~600											
			220	110~1200											

Order 注文例
MCHSSCA10 - 170 - V200 - W450
MCHSSCB12 - 300 - V110 - W300 - C - Y

Delivery 出荷日
8 日日出荷

Price 価格
数量スライド価格 (1円未満切り捨て) P133

数量区分	標準対応	個別対応
小口	MCHSSCA10-300-V200-W300-C-M	MCHSSCA10-300-V200-W300-C-M
大口	MCHSSCA10-300-V200-W300-C-M	MCHSSCA10-300-V200-W300-C-M

●表示数量超えはWOSにてご確認ください。
●数量スライド価格はヒータ本体のみの適用となります。

端子種類

記号	端子種類	ねじ呼び
M	圧着端子 -丸型-	M4
Y	圧着端子 -Y型-	M4

- 特長
- カートリッジヒータに、K型熱電対を内蔵したものです。
 - ヒータと温度センサを一体化した為、省スペースで使用できます。
 - ヒータ自体の過昇を防止し、かつ的確な温度コントロールができます。

- 使用上の注意
- ヒータを大気中で空焼きしないでください。
 - ヒータの発熱部全体または発熱部の一部が被加熱物から出た状態で使用すると、異常発熱により断線・発火する恐れがあります。
 - 熱電対で測定する温度はヒータ自体の温度です。
 - 被加熱物の温度を測定する場合には、別途センサを取付ける必要があります。

57
断熱板・
ヒータ・
温度調
関連